

高速道路を安全にご利用いただくためのお願い

◆渋滞を発見したら

渋滞の中や最後尾などでは、**追突事故が発生しやすい状況**になります。渋滞を発見した場合は、次の点に注意して走行してください。

① 後続車両への合図を！

後続車両の運転者が前方の渋滞に気づいているとは限りません。

ハザードランプの点灯や、**ポンピングブレーキ**などで後続車両へ合図してください。



② 急ブレーキ・急な車線変更は厳禁！

渋滞後尾での**急ブレーキ**は、後続車両に**追突されるおそれがあり大変危険**です。

前後の車両との距離に注意し、緩やかに減速してください。

急な車線変更も追突・衝突事故の原因となりますのでやめてください。

また、渋滞により停止する場合も、前の車と十分な車間距離を取りましょう。

③ 路肩走行は厳禁！

緊急時の救急活動などの妨げとなりますので、**路肩の走行はやめてください**。

★事前の情報確認を！

走行中に道路情報板や工事関係車両のLED表示などで渋滞情報を入手した際は、前方に注意してください。

出発前や休憩時の渋滞情報収集には、WEBサービスの



高速道路を安全にご利用いただくためのお願い



◆事故や故障などで高速道路上に停止してしまったら

高速道路上の駐停車は、**事故や故障などやむを得ない場合を除き禁止**されています。

万が一高速道路上に停止してしまった場合は、次の点に注意して身の安全を確保してください。



① 後続車両への合図を！

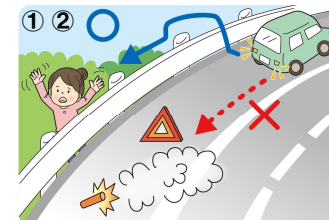
後続車両の運転者が前方の停止車両に気づいているとは限りません。**ハザードランプを点灯**するとともに、

発炎筒・停止表示器材を自車の後方に無理のない範囲で設置し、後続車両へ合図してください。

② 安全な場所へ避難を！

車内や道路上に留まるのは、後続車両に**追突されるおそれがあり大変危険**です。

運転者も同乗者も全員、通行車両や足元に十分に注意し、自車より後方の、ガードレールなどの防護柵より外側の**安全な場所へ速やかに避難**してください。



③ 避難してから通報を！

安全な場所に避難した後、**110番**や**非常電話**^{*1}、**道路緊急ダイヤル (#9910)**^{*2}などで速やかに通報をお願いします。

(※1) 非常電話は高速道路の本線脇におよそ1kmおき（トンネル内は200mおき）に設置されており、受話器を取ると自動的に道路管制センターにつながります。

(※2) 道路緊急ダイヤル (#9910) は携帯電話などからご利用できます（通話料無料）。

非常電話 高速道路でやむを得ず 停車したときは		非常電話 SOS
道路緊急ダイヤル 「故障車」や「落下物」・ 「道路の破損」などを見つけたら		#9910

◆事故を防止するためのポイント

●無理をせず、ゆとりのある運転を！

走行中は、前方の異状に早めに気づき、落ち着いて回避できるよう、**十分な車間距離**をとって、**安全な速度**で運転してください。

特に、雨や雪などで路面の状況が悪い場合や、漫然な運転になりがちな深夜・早朝の時間帯には一層注意をしてください。

危険な運転者に追従されるなどした場合は、サービスエリアなど近くの安全な場所に待避するとともに、警察に110番で通報してください。

●前方で思わぬ事態が発生している“かもしれない”運転を！

高速道路上では、渋滞、事故、故障や落下物など、思わぬ事態が発生している場合があります。走行中は、**道路情報板やハイウェイラジオなどの情報をチェック**するとともに、前方で思わぬ事態が発生している“**かもしれない**”運転を心がけてください。

●わき見運転、ながらスマホは絶対禁止！

時速100kmで走行中の車両は、1秒間におよそ28m前に進みます。考えごとや景色に気を取られての**「わき見運転」**や、運転しながら携帯電話やスマートフォンなどを操作する**「ながらスマホ」**は大変危険ですので、絶対にやめてください。

前の車に近づきすぎ？
あおり運転は大変危険です！十分な車間距離を取りましょう。



高速道路には大小様々な車が走っています。特に大型車は、軽自動車・バイクなど小さな車に思いやりを！

車間距離が十分でないと、前の車が急ブレーキをかけることで追突事故につながる危険性があります。

センターラインで車間距離がわかります
白線は8m、白線と白線の間は12mの等間隔となっています

